

# Visionista

VOL.04

2024 | winter

[ヴィジヨニスタ]

受入企業Interview

- 株式会社ヤマコン
- 矢島鉄筋工業株式会社
- 株式会社手塚工務店
- 株式会社ダイヤテック
- 株式会社長井工務店

# 次の スター社員は、 世界にいる!

わたしの視点  
 IDEAS COLLECTION  
 J-Report  
 Future  
 となりのホンネ

Visionista

[JAC特定技能導入事例集]

VOL.04

2024 | winter

2024年2月1日発行

発行：一般社団法人建設技能人材機構 管理部 〒105-8444 東京都港区虎ノ門3丁目5番1号 虎ノ門37ビル9階  
 編集：〒105-8444 株式会社KeyProCreative 取材：株式会社KeyProCreative 印刷：大村印刷株式会社



一般社団法人  
**建設技能人材機構**  
 Japan Association for Construction Human Resources

本誌掲載内容の無断転載を固く禁じます。

「Visionista」に関するご意見・ご要望

MAIL : info@jac-skill.or.jp

ホームページはこちら

<https://visionista.jac-skill.or.jp>





VOL.04  
2024 | winter

CONTENTS

受入企業 Interview

- 05 当社で身につけた技術を  
我が国で十分に 発揮してもらいたい  
株式会社ヤマコン
- 07 これからの時代は 彼らの力が絶対に必要  
当社の成長には不可欠です  
矢島鉄筋工業株式会社
- 09 移行率は約6割  
末長く働くための 環境を整えていきたい  
株式会社手塚工務店
- 11 素直に努力を続ける、  
手放したくない 優秀な人材たちです  
株式会社ダイヤテック
- 13 腕のよい職人たちから 高い技術を習得し  
胸を張って働いてほしい  
株式会社長井工務店

15 困った時に活用したい  
IDEAS COLLECTION

17 J-Report  
in 富士教育訓練センター

外国人材の建設キャリア Future

- 25 HOANG DINH HOANG/ホアンさん
- 27 NGUYEN VAN DUNG/ズンさん

29 アンケートから読み取る  
となりのホンネ

「特定技能外国人制度」の施行により、建設企業において外国人材を「現場を支える技術者」として受け入れ、育成する取組みが広まっています。そんな中、外国就労者の技能向上への日々の研鑽・取組みを応援することを目的にしたのが「Visionista」です。全国各地の企業を取材し、参考になる事例やアイデアなどを収集・紹介しておりますので、ぜひご活用ください。

わたしの視点 ～my point of view～

- 19 充実したサポートさえあれば 彼らは能力をフルに発揮できる  
株式会社ヤマコン 管理部係長 湯本 亜久里 氏
- 21 仕事を楽しむには自信と誇りが必要 将来に希望をもって働いてほしい  
矢島鉄筋工業株式会社 代表取締役社長 矢島 孝夫 氏
- 23 彼らは大切な会社の戦力 絶対に無下にはしない  
株式会社手塚工務店 取締役工務部統括部長 鈴木 俊匡 氏





# Visionista

[JAC特定技能導入事例集]

Visionista(ビジョニスタ)とは

思い描いた夢と情熱を胸に海を渡り、  
未来を切り開こうとする者たちがいる。  
そんな挑戦者たちを支え、ともに歩もうとする企業がある。

今、それぞれのビジョンが交差する。

# #01 株式会社ヤマコン



## 当社で身につけた技術

山形県にある株式会社ヤマコンでは、2000年から受入れを開始し、現在も多くの外国人を雇用しています。今回は、同社関東支店支店長の柏倉さんとベトナム人のホアンさんの声をご紹介します。(2023年5月24日取材)



### 受入企業 Interview

関東支店支店長  
柏倉 剛志 氏

#### — 受入れを決めた理由は？

人材不足への不安から中国人を受け入れたのがスタートです。その後、ベトナムの建設会社と協力関係ができ、同社から「社員に日本の技術を学ばせたい」という依頼があったことから、実習制度を利用して継続的に同社の人材を受け入れるようになりました。受入れが安定したほか、国際協力にもつながり理想的な提携でしたが、コロナの影響で今は一般公募で受け入れています。

#### — 受け入れて良かった点は？

現場で見ていてまず驚かされたのが、とにかく素直なことと、並外れた勤勉性の高さでした。どんな作業に対しても「早く覚えたい」という前向きな姿勢を非常に感じたものです。すると、他の日本人従業員も感化されて、全体的に仕事への向き合い方が変わっていったと思います。

#### — 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

受入れ当初は、安全に関しては非常に気を使いました。例えば、現場内の安全看板に書かれている「足元注意」「落下物注意」といった言葉は、現場に入る前にしっかりと理解させています。とはいえ、日本語だけで伝えるのは正直、とても難しい。そこで、ベトナム語とイラストを使い、紙芝居方式で繰り返し意味と読み方を伝えるといった工夫をしていました。

#### — 導入予定の企業へメッセージをください。

我々の作業は力仕事であり、現場では常に2、3人の人手が必要です。応援として現場間を行き来することもある中で、特定技能外国人は他の現場が忙しそうだと「自分たちの現場から誰か応援を向かわせて」と自発的に提案してくれることがあり、とても助かっています。そんな仲間思いの彼らから日本人が刺激を受けないわけがありません。気づきや学びという点でも大活躍してくれるはずですよ。

企業プロフィール  
所在地: 山形県山形市十文字天神東770  
事業内容: コンクリート圧送工事/給排水設備工事/防水工事 など  
従業員数: 193名 (内: 特定技能3名 技能実習13名 すべてベトナム人)  
Website: <http://www.yamacon.jp>

初期導入: 寮の確保 エアコン・Wi-Fi環境 必要な生活用品(家具、家電 など)

給与体系イメージ  
・ 特定技能(月額基本給) 約28万円(固定給)  
※技能・日本語習熟に応じた昇給あり  
・ 技能実習(月額基本給) 約18万円

# を我が国で十分に 発揮してもらいたい

ホアンさん



### 現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、またこれからの目標について、同社に在籍する特定技能1号のホアンさんと管理部係長の湯本さんにお話を伺いました。

社内では「仕事のできる先輩」として頼りにされているホアンさん。工務主任として現場を仕切りながらも、明るい性格から場を盛り上げる存在です。旧正月には自身が企画した、日本人を招いてベトナム料理を振る舞う食事会も主催しています。「ベトナム人は何よりも家族を大事にしますが、日本人もきっと同じ。それなら仕事以外でも仲良くなれるはず。職場の雰囲気が明るいほうが、人生も楽しいですから」。そんなホアンさんの周りは笑顔でいっぱいです。



家族を大事にする国の人間同士、  
もっと楽しくやっていきたい!

湯本 亜久里氏 先輩社員

ホアンさんは日本語が堪能で、コンクリート圧送の技能検定1級にも合格し、工務主任として現場監督との打ち合わせも一人で行う優秀な方です。そもそもベトナム人は努力家が多く、異国の地でもがんばれる方たちなので、見習う点は非常に多い。また、価値観や文化も違うので、接していると考え方に柔軟性が生まれるだけでなく、社内にも多様性をもたらしめてくれます。そう考えると、受入れは良いことだらけです。

努力家のベトナム人のみなさんから  
見習うべきことは本当に多い



# #02

## 矢島鉄筋工業株式会社



# これからの時代は彼ら 当社

東京都を拠点とする矢島鉄筋工業株式会社では、30年以上前から受入れを開始し、現在も多くの中国人を雇用しています。今回は、同社代表の矢島さんと中国人2名の声をご紹介します。(2023年5月30日取材)



### 受入企業 Interview



代表取締役社長  
矢島 孝夫 氏

#### — 受入れを決めた理由は？

外国人を受け入れたのは今から30年以上前になります。実は、建設業界の人材不足は今に始まったことではありません。当時は、関東の躯体業者のなかには農業と兼業で働く人が一定数いて、稲刈り、田植えのシーズンになると農業を優先する人たちも少なくありませんでした。そのため、当社では安定的に人材を確保するために、中国人を受け入れたのがきっかけです。

#### — 受け入れて良かった点は？

鉄筋という職業は肉体力労働であり、体力勝負の仕事です。50代、60代になってくると、技術力は向上していくものの、やはり体力では若い人たちには敵いません。会社として生産性を高めるには、体力のある若い外国人に来てもらうことは非常に重要で、本当に助かっています。

#### — 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

外国人との関係性を良好にするには、お互いにコミュニケーションを取るのが一番です。そこで、私も少しですが会話できる程度の中国語は覚えています。あいさつや数字、簡単な短文くらいなら、普段の会話から自然と理解できるので特に苦労することはありません。彼らもこちらがそうした努力をするからこそ、日本語を学ぼうとがんばってくれるのだと思っています。

#### — 導入予定の企業へメッセージをください。

最近ではコンビニなどで、さまざまな国籍の方が働いているのを見かけます。すでに必要な人員を日本人だけではまかなえなくなってきていて、それは建設業だけでなく、ほとんどの業種が同じ状況になっているのではないのでしょうか。これからは海外に人材を求める時代。優秀な外国人の職人を育てることは必要不可欠です。ぜひチャレンジしてみてください。

企業プロフィール  
所在地: 東京都墨田区立花5-12-5  
事業内容: 鉄筋工事/鉄筋加工及び組立工事施工 ほか  
従業員数: 70名 (内: 特定技能8名 すべて中国人)  
Website: <http://t-yjm.co.jp>

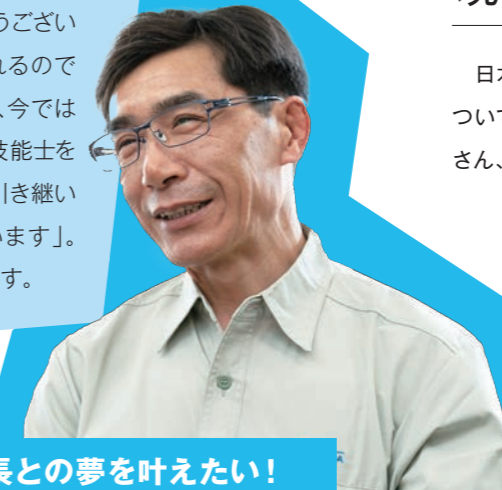
初期導入: 寮の確保 エアコンやテレビなどの生活家電 Wi-Fi環境  
現場への送迎用車両 生活指導員 など

給与体系イメージ  
・ 特定技能(月額基本給) 約24万円~  
※ 精動手当・休日勤務手当・残業手当・技能手当は別途  
・ 技能実習(月額基本給) 約18万円~

# の力が絶対に必要 の成長には不可欠です

ニカ  
倪 華さん

来日してまず驚いたのが、あいさつの文化だったそうです。「スーパーで「おはようございます」「こんにちは」と声をかけてくれるのでびっくりしました。そんなニカさんも、今では日本語能力試験N1や1級鉄筋施工技能士を取得。「矢島社長から独立して工場を引き継いでほしいと言われ、夢の一つになっています」。現在は特定技能2号を目指しています。



### 現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、またこれからの目標について、特定技能1号として働く中国出身のニカさん、ソウさんにお話を伺いました。

#### 特定技能2号になって、社長との夢を叶えたい!

ソウ  
曾 正堯さん

ソウさんは来日して今年で10年目になり、1級鉄筋施工技能士も取得しています。試験では矢島社長に付き合ってもらって問題集を繰り返し解いていたのだとか。「漢字はなんとなくわかったのですが、単語を覚えるのが大変でした」。日本のデジタルカメラがお気に入り、今では風景の撮影が趣味に。「皇居や東京タワーを撮影しては母国の家族に送っています」。



#### 社長に先生になってもらい、1級鉄筋施工技能士を取得!

# #03 株式会社手塚工務店



## 移行率は約6割 末長く

東京都の株式会社手塚工務店では、2010年から受入れを開始し、現在も多くのインドネシア人を雇用しています。今回は、同社代表の手塚さんとインドネシア人3名の声をご紹介します。(2023年9月19日取材)



### 受入企業 Interview

代表取締役  
手塚 利行 氏

#### — 受入れを決めた理由は？

受入れを始める前、当社の職方さんたちも働き盛りの年齢で、人手に困っていなかったのですが、将来的には必ず担い手不足になることを感じ始めていました。そんな時に制度を知り、どの国から受け入れるか迷っていたところ、得意先から「インドネシア人は誠実で親日で真面目に働く」と聞き、即決しました。

#### — 受け入れて良かった点は？

現在、17名の特定技能外国人が働いてくれていて、技能実習生の数を大きく上回っています。つまり、彼らが当社の主力としてがんばってくれているということです。当社の場合、技能実習から特定技能へ移行する割合は6割ほどで、人材確保という意味ではとても安定した流れができています。

#### — 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

彼らとの約束は必ず守ることを心がけています。例えば、手当や交通費はもちろん、会社として何かを支給すると一旦伝えたら、絶対にうやむやにしない。特にお金に関することは大きなトラブルにもつながりますし、彼らを裏切ることになり信頼をなくしてしまいます。もし、約束を忘れてしまっていて彼らから指摘されたら、私からきちんと謝るようにしています。

#### — 導入予定の企業へメッセージをください。

外国人就労者のほとんどが家族を母国に置いてきています。彼らは家族を大切にしますので、そうした意味でも長くいてもらうために、将来について今どんな考えをもっているのか、話を聞いてあげることが非常に重要です。それを受けて、どういったサポートができるか。この国で未来を描ける環境をつくってあげることも、受入れを成功させるポイントだと思います。

企業プロフィール  
所在地: 東京都世田谷区喜多見3-14-8  
事業内容: 型枠工事/リフォーム・リニューアル工事 など  
従業員数: 48名 (内: 特定技能17名 技能実習6名 すべてインドネシア人)  
Website: <http://www.tezuka-k.co.jp>

初期導入: 寮の確保 生活家電一式 Wi-Fi環境 現場使用装着道具貸与 作業服(夏・冬)、防寒着、空調服など貸与

給与体系イメージ  
・ 特定技能(月額基本給) 約24万円  
※資格取得により手当3,000~5,000円  
※技能手当 8,000円(道具購入の為の手当)  
・ 技能実習(月額基本給) 約18万円

## 働くための環境を整えていきたい

### 現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、またこれからの目標について、特定技能1号のアフマドさん、アセップさん、リドさんの3名にお話を伺いました。

#### アフマドさん

初来日から10年以上が経つアフマドさんは、富士山にも登ったことのある“日本通”です。「夜、山頂にいる時に台風がきて大変な思いをしました」。長く手塚工務店で働く理由は、会社の人たちのやさしさなのだから。「大熱を出した時に先輩がアパートにまできて病院に連れていってくれたんです。本当にうれしかった」。今はN1合格を目指して猛勉強中です。

先輩のやさしさに触れ、  
長く日本で働き続けたいと思いました

#### アセップさん

日本のアニメが大好きで、大ヒット作品や過去の名作を観て日本語を覚えているというアセップさん。「テキストよりもすぐ勉強になります」。2017年にインドネシアに恋人を残して来日したのですが、2023年1月にめでたく結婚。「4年間も待ってくれた妻を幸せにするために、もっと日本で仕事をがんばりたいです」。そう真剣な眼差しで決意を語ってくれました。

インドネシアで待ってくれていた妻を幸せにしたい！

#### リドさん

インドネシアでバイオエタノールの製造に関する事業を立ち上げたいという大きな夢を持っているのがリドさんです。「300万円を貯めたらバイオエタノールの原料となる米を育てるために、田んぼやトラクターを買うんです」。そんな彼が熱中しているのがフットサル。週末に仲間と集まって汗をかいているそうで「やっぱり体を動かすのが何よりも最高ですね」。

夢はインドネシアで  
バイオエタノールの事業を立ち上げること！

# #04 株式会社ダイヤテック

## 素直に努力を続ける、

東京都にある株式会社ダイヤテックでは、2017年から受入れを開始し、現在も多くのインドネシア人を雇用しています。今回は、同社代表の内山さんとインドネシア人のワフィーさんの声をご紹介します。(2023年5月30日取材)



### 受入企業 Interview

代表取締役  
内山 巧氏

#### — 受入れを決めた理由は？

10年ほど前までは一般求人・高校求人を継続していたのですが、雇用してもなかなか定着しないことや、そもそも応募自体が減少するといった状況で、求人採用をあきらめてしまいました。その代わりとして、2017年に仕事仲間の勧めで外国人を受け入れたのがスタートです。

#### — 受け入れて良かった点は？

予想以上のスピードで戦力になってくれたことです。最初は言葉の違いに不安はありましたが、逆を言えば問題はそれだけ。それに、鉄筋は基本的に体力仕事なので、一度流れをつかんでしまえばそれほど指示は難しくありません。実際に、今も問題なく働いてくれています。

#### — 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

最初は道具の名前を翻訳したテキストを用意していました。そして、現場では実物とテキストを見ながら、「これはこれのことだよ」と、何度も繰り返し説明しました。しかし、それでも2、3日経ってから「あれを持ってきて」と指示を出すと、違うものを持ってくる。それならばと、今度は絵に描いて説明するなど、とにかくわかりやすく指示を出すようにしていました。

#### — 導入予定の企業へメッセージをください。

何よりも大切なのはコミュニケーションだと思うんです。私も立場としては社長ですが、彼らにとっては父のような存在でいたいと思っています。今はSNSでやり取りができるので、いつでも彼らの相談に乗れるように、グループを作って私もたまに参加しています。帰国した人もコメントをくれることもあって、うれしいですね。みなさんにもおすすめですよ。

企業プロフィール  
所在地: 東京都江戸川区東葛西4-18-6  
事業内容: 鉄筋工事業 など  
従業員数: 21名 (内: 特定技能1名 技能実習4名 すべてインドネシア人)

初期導入: 寮の確保 生活家電 生活用品 自転車 Wi-Fi環境  
生活指導員、通訳、講師の採用 など

給与体系イメージ  
・ 特定技能(月額基本給) 約23.7万円  
・ 2022年からの技能実習(月額基本給) 約18.3万円  
・ 他の技能実習(日給月給制) 約19.8万円

# 手放したくない 優秀な人材たちです

### ワフィーさん

現場では配筋作業を担当しているワフィーさん。家族への仕送りのほかに、いつか好きなバイクの部品を販売するお店を開いて、家を建てるといった夢を持って19歳の時に来日しました。今では日本での生活にも慣れ、休日にはサイクリングを楽しんでいます。「温泉に行ったこともあります。開放感があって最高ですが、全裸はまだちょっと恥ずかしくて。海パンを履いて入りました」。まだ若く、充実した日々を過ごしながら、夢を叶えるために今日もがんばっています。

いつかバイクの部品の販売店を開いて、家を建てるのが夢なんです！



### 現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、またこれからの目標について、同社に在籍する特定技能1号のワフィーさんと取締役部長の小林さんにお話を伺いました。

### 小林 光夫氏 先輩社員

最初に接した時は、日本人の若手と比べても負けず劣らず、やる気のある人だと感じました。指示されたことには前向きに、とにかく素直に取り組んでくれます。私たちの仕事は重い鉄筋をかついで現場のなかを運んで回ることも少なくありません。それでもつらい顔を見せることなく、がんばって働いているのを見て、本当に感心しました。そうした努力の積み重ねを見ているので、今ではもう手放したくない人材です。

毎日努力を積み重ねる、手放したくない人材です！



# #05 株式会社長井工務店



東京都にある株式会社長井工務店では、2015年から受入れを開始し、現在もベトナム人やネパール人を雇用しています。今回は、同社代表の長井さんとベトナム人のチエウさんの声をご紹介します。  
(2023年10月31日取材)



## 受入企業 Interview

代表取締役  
長井 守 氏

### — 受入れを決めた理由は？

型枠の仕事はチームで進める作業が多いので、定期的に人材を確保できる受入れとは相性がよいと思っています。受入れ前にベトナムの教育機関に視察へ行ったところ、現地で型枠大工の教育をしっかりしていたので、「これなら大丈夫」と受入れを決めました。

### — 受け入れて良かった点は？

ベトナム人は本当に真面目で、仕事を覚えようとする意識も高い。また、現場では日本人の職長や先輩たちに自分から歩み寄ってもいきます。そうすると、日本人もそれに応えようと熱心に教えるので、社員たちはお互いに協力しながらとてもよい雰囲気です仕事をしています。

### — 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

目の届く場所で生活してもらったほうが何かと便利だと思ったので、自社ビルの上階を寮にして入ってもらいました。結果的に、仕事から戻ってきた日本人社員が彼らの部屋へ立ち寄るなど、交流が深まったので正解だったと思います。あとは、言葉を早く覚えてもらうために、週末にボランティアで日本語を教えている地域の語学教室へ通ってもらっていました。

### — 導入予定の企業へメッセージをください。

特定技能制度ができて、日本でより長く働けるようになった今、短時間で詰め込み式に教えるのではなく、時間をかけてじっくり教育していくことが可能になりました。こうなると、それぞれ目標を持ってやってくる外国人が安心して働き、生活できる環境づくりを考えることが大切になります。ぜひ長期的な育成を視野にコミュニケーションを取ってほしいですね。

企業プロフィール  
所在地: 東京都立川市富士見町2-11-16  
事業内容: 企画開発/建築/リノベーション/RC など  
従業員数: 40名 (内: 特定技能1名 技能実習2名 ベトナム人、ネパール人)  
Website: <https://www.nagai-komuten.jp>

初期導入: 寮の確保 Wi-Fi環境 現場への送迎車 必要な生活用品一式(家具、家電 など)  
自転車 弁当箱 生活指導員の採用

給与体系イメージ  
・ 特定技能(月額基本給) 約25万円～  
・ 技能実習(月額基本給) 約19万円  
※技能習熟に応じた昇給あり

# 高い技術を習得し 張って働いてほしい

## 現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、またこれからの目標について、同社に在籍する特定技能2号のチエウさんとRC事業部 部長の吉川さん、RC事業部 課長の神田さんにお話を伺いました。

吉川 彰慶氏 先輩社員

チエウはコミュニケーション力が特に高く、現場では気づくと他業種の人たちと仲良くなって、笑い話をしているんです。見ていると話好きで物怖じしないですし、礼儀もきちんとわかまえています。目上の人に対する気遣いもしっかりしている。それが自然にできているので、何も心配事はありません。今の調子でいけばもっと活躍できると確信しています。

礼儀正しくて気遣いもできる、  
彼ならもっと活躍できるはず！

チエウさん

型枠職種として国内初の特定技能2号となったのがチエウさんです。とても気遣いができると評判で、来日当初には「お世話をしてくれている吉川さんを自室に招いてベトナム料理をごちそうさせていただきました」。これには吉川さんも感動したそうです。今の目標は「より難しい仕事を任されること」。会社へ恩返しをするためにさらなる高みを目指します。

私たちの受入れに力を尽くしてくれた  
会社の役に立ちたい

神田 敏和氏 先輩社員

ベトナムから彼らが来てくれたことで、まず変わったのが社内の雰囲気です。彼らがつたない言葉でも一生懸命話しかけてくれるので、その場が明るくなるんです。私たちも仕事後に寮へ行っては談笑していました。仕事で注意した時もビールを持って部屋へ行っては、改善策について語り合ったものです。そうした時間がチームワークを育てていったのだと思います。

寮での語り合いが  
今のチームワークにつながっています



# 困った時に活用したい IDEAS COLLECTION

初めて受入れをする企業にとって、外国人と仕事をし、住まいを提供するのは不安なものです。そこで、実際に受入れをスタートしている企業が、実践しているコミュニケーションのコツや教育方法など、さまざまなアイデアを紹介します。



## 海外の情報まで把握する

**海** 外情勢が外国人就労者の生活に与える影響は少なくありません。例えば、母国にいる家族に多額の送金をしている人は多く、円安になると仕送り額は目減りしてしまいます。また、コロナ禍には長い間、帰国できない人がほとんどでした。そうした問題へのサポートは難しいものの、彼らの心情を理解するために状況を把握しておくことは非常に大切です。



## 安全教育は紙芝居方式で

**外** 国人就労者にまず必要なのが安全教育です。そこで、危険な作業についてはイラストを交えた紙芝居方式で伝えている企業があります。文章もすべて翻訳して、わかるまで何度も繰り返し説明することで、作業内容やそこで起こる可能性がある事故・怪我等を理解させています。



## 資格取得でやる気アップ

**仕** 事を楽しく学んでもらうには、自信を持たせ、仕事に誇りをもってもらうことが大切です。そのために、資格を取得させることはとてもよい方法の一つと言えるでしょう。「これだけことができるようになったら、今以上に評価される」そうした考えをもってもらえれば、将来的な夢や希望を描けるはずです。

## 相手の言葉を覚える

**良** 好なコミュニケーションを図るためには、日本人も相手の国の言葉を覚える努力をすることも必要です。実際に語学勉強に取り組むといった本格的なものだけでなく、相手にあいさつを教わる程度でも関係性は変わってきます。また、作業中に危ない場面で相手の国の言葉で注意できると、危険回避としてもとても有効です。



## 指示を紙に書いてわたす

**鉄** 筋は太さに種類があり、働き始めたばかりの外国人は言葉の問題もあって覚えるのが一苦労です。そこで、鉄筋を持ってきてもらう時などには、長さや太さ、本数などを紙に書いてわたすと間違いを減らすことができます。数字は世界共通なので理解しやすく、指示も明確になります。また、企業によっては運んでもらいたい材料を絵に書いてわたすところもあるようです。



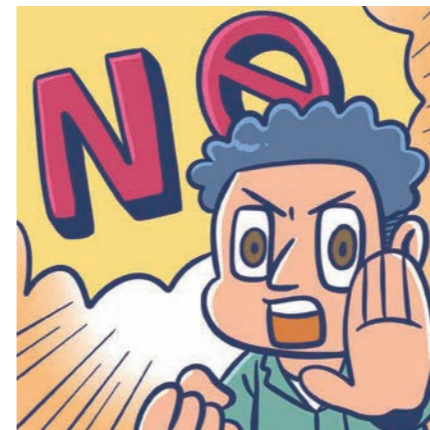
## 一緒に遊んで関係性を高める

**プ** ライベートでの交流はお互いの距離を縮めやすいと言えるでしょう。とある企業では、外国人就労者に若者が多く、ダンスが大好きだとわかると、一緒にクラブに連れて行って楽しんでいます。すると、彼らも楽しさから心を許すようになり、距離が一気に縮まったという事例もあります。



## 宗教の問題は必ず主張させる

**当** 然ですが、外国人と日本人には文化の違いがあり、常識や価値観が大きく違うものがあります。特に宗教によって禁止されているものやお祈りの時間などは日本人にあまり馴染みがなく、理解が浅い場合がほとんどです。そこで、宗教に関することに対しては「嫌なことは嫌だと必ず言いなさい」と伝え、主張するように教育している企業があります。



静岡県富士宮市根原にあった旧建設省建設大学校朝霧校の施設を活用し、平成9年に開校したのが富士教育訓練センターです。建設企業の新入社員から熟練者まで、建設業に関するさまざまな教育を受けることができる場であり、富士山西麓の恵まれた環境で建設施工の知識や技術・技能を学ぶことができます。



## INTERVIEW

### 富士教育訓練センター 責任者紹介



専務理事  
菅井 文明氏

### 日本語・文化・習慣についても 学んでもらう実習の場

当センターでは日本人への教育以外に、来日後の技能実習生にも、日本語学習をメインに約1カ月間の教育を行っています。また、初めて日本で生活する方ばかりなので、日本人にとっては当たり前のルールや習慣を覚えてもらう場にもなっています。例えば、食堂では順番に並んで食事を受け取り、横入りをしないで待つ。そういった日本では常識的なこ



とも、国によっては考え方が違うため、規律として学ぶ必要があるのです。

### 一日の始まりは朝礼から 安全意識を高めることが大事

特に力を入れているのが安全教育です。当センターでの一日は朝礼から始まります。ラジオ体操で体をほぐし、指差呼称を行う。これらは危険から身を守る上で必要なことでしょう。そして「あいさつ」です。コミュニケーションの基本であり、現場で連携して仕事をする上では欠かせません。それらが組み合わさり初めて身の安全を確保できると考えています。



### 「ものづくりは人づくり」の 心で育ててほしい

外国人の皆さんは働きたいという強い意欲を持って日本へやってきました。受入企業はその意欲をしっかり受け止めて、きちんと育てる環境をつくるのが大切です。技能・技術を習得して仕事ができるようになることは、外国人自身にとって喜ばしいことであり、当然受入企業にとっても喜ばしいことです。受入企業の皆様にはどうか地道な「ものづくりは人づくり」の心で育てていただけますようお願いしたい。富士教育訓練センターとしても必ずお力になれると思います。

## INTERVIEW 講師紹介



公益社団法人全国鉄筋工事業協会  
実習生指導員  
ゲン タン ガン氏

### 基本的な日本語教育や 生活についての指導を担当

公益社団法人全国鉄筋工事業協会で、技能実習生の指導員と特定技能外国人の支援員を担当しています。センターでは、来日した技能実習生に約1カ月の間、基本的な日本語の教育を始め、仕事の流れや安全教育、また日本での生活の仕方をサポートしています。

### 受入先で困らないよう 風呂の入り方までサポート

ベトナム人の場合、他人とお風呂に入る習慣はありません。洗濯機の使い方もわからない。しかし、当センターを出たらすぐに受入先での寮生活が始まります。彼らが困らないように、日本の生活様式をしっかり伝えることが私の仕事です。



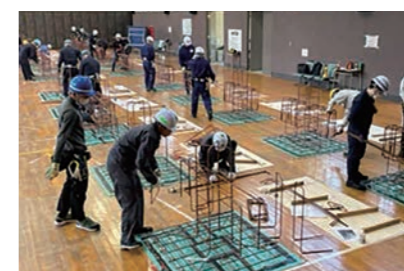
教育訓練課 非常勤講師  
町 美差恵氏

### 言葉がわからなくても 理解すればうなずいてくれる

非常勤講師として鉄筋施工の基礎的な知識や技術を教えています。言葉が通じない人がほとんどなので、教えるのが難しいと思われがちですが、ジェスチャーや表情だけでも意外と伝わるものです。彼らも理解すると首を縦に振ってうなずいてくれます。

### 礼儀正しく、LINEで 新年のあいさつをくれる人も

日本の風習やマナーも覚えているので、廊下で立ち止まってあいさつをしてくれるなど、みんなが敬意を払ってくれます。なかには「LINEアカウントを教えてください」と言ってくる人もいて、メッセージで新年のあいさつが届いたことも。うれしかったですね。



## Trainee's VOICE

### 訓練生の声



ソンさん  
(ベトナム)

日本で最先端技術を  
学びたい

ベトナムでは建設業はまだそれほど目立った職業ではありません。そこで、最先端の知識と技術を学び、いずれ母国の役に立てればと考え、日本へ行くことを決めました。



フンさん  
(ベトナム)

安全対策の大切さを  
理解できた

日本はベトナムよりも安全に対する意識が高いのが印象的でした。現場で起こる事故は、自分だけでなく周りを巻き込むリスクがつきまとうので注意したいです。



カインさん  
(ベトナム)

富士山やお祭りに  
行ってみたい!

日本語は難しいけど、今は学ぶことを楽しめるようになりました。日本でやりたいことの1つが旅行で、富士山には絶対に行ってみたい。お祭りも体験したいですね。



クオンさん  
(ベトナム)

目標は特定技能に  
なること!

センターの生活は厳しいと感じることもあります。でも、日本語や作業などができることが増えるにつれて、自信もついてきました。今は特定技能になることが目標です。

## FACILITY 施設紹介

約5万㎡ある広大な敷地内には、屋内外に充実した設備が整っています。



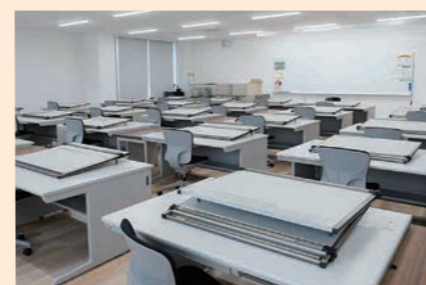
**機械実習棟・鉄骨躯体教材** クレーン運転や玉掛け、鉄骨躯体の組立・解体などを行う。



**屋内実習場** 雨天時の測量や墨出しの実習に利用。夜はレクリエーションの場にも。



**内装・仕上実習場** クロス貼りやリフォーム施工など、内装工事全般の実習場。



**製図室** あえて手書きで図面作成を行うことで製図の基礎力を養う。



**訓練生寮** 男子寮、女子寮に分かれており、あわせて332名を収容できる。



**食堂** 約170名が利用可能。日用品やお菓子などの売店も併設している。

## わたしの視点 ～ my point of view ～

### 充実したサポートさえあれば 彼らは能力をフルに発揮できる

株式会社ヤマコン 管理部係長  
湯本 亜久里 氏

湯本さんは、特定技能外国人や技能実習生たちの面接から入国手続き、生活指導や相談窓口など、外国人就労者に関する業務全般を担当しています。常に寄り添う立場としての考えや思いを伺いました。

#### 価値観が固まった職場に 新しい風を吹き込んでくれる存在

— 湯本さんが感じるベトナム人の印象は？

もちろん人によって差はありますが、個人的にはとても優秀な方が多いという印象です。基本的に努力家で、勤勉ですし、何よりハンガリー精神がとてもあります。違う国に来て仕事をがんばっているというだけでもすごい人たちのので、見習う点がたくさんあります。

— 受入れによって職場に変化はありましたか？

職場というところは、いつも同じ人間が集団で仕事をしているので、どうしても価値観が固まってしまうがちです。変化を嫌い、時には排他的な雰囲気を出してしまうことだってあります。そんななかで違う文化、違う言語を持つ

方々が入るわけですから、多様性が生まれるというメリットは大きいです。新しい風を吹き込んでくれるのは本当にありがたいですね。

— 採用時に注目しているところは？

日本で働きたいという気持ちや、仕事への熱意がどれほどあるのか、面接時に確かめるようにしています。あとは、日本語学習への意欲です。私の経験上、日本語が上手な人は仕事の成長も早い。いろんな人とコミュニケーションが取れるので、さまざまな場面で知識や技術を吸収できるのだと思います。面接の時点で勉強を始めている人が理想的です。

#### まずは同じ国の先輩に 通訳などのフォローをしてもらう

— 育成面ではどんな工夫をしていますか？

基本はOJTになります。体制としては、入社したばかりの人は2人で行く現場に3人目として入ってもらうようにしています。また、必ずベトナム人の先輩についてもらい、コミュニケーションのフォローをしてもらう。そうした期間を1カ月ほど設けて、慣れ始めたら日本人とだけで現場に行ってもらいます。

— そのほかに気をつけていることは？

給与についての説明はしっかり伝えています。ベトナム人は金額を共有する習慣があるようで、例えば先輩と後輩がいるとして、後輩のほうが先輩より給料が高いと、その理由が明確でなければ先輩はやる気をなくしてしまいます。単純に評価によるものと伝えるのではなく、できていること、いないことを示して納得してもらうことが大事です。

#### 頼れる人が少ないからこそ できるだけ支えたい

— コミュニケーションで工夫していることは？

ベトナムの文化や歴史を理解したうえで接しています。特に習慣の違いは把握していないと、さまざまな場面で驚かされることがあります。以前、夏と一緒にプールへ行ったのですが、海パンを履かず、下着で入ろうとしました。とがめると「大丈夫、下着でいける」と自信満々に笑っていましたからね。

— 彼らに期待していることはありますか？

非常に勤勉な方が多いので、サポートが行き届けば、将来的に企業にとって大きな戦力になると思います。反対にサポートが足りないと、途中で挫折してしまう人が増える恐れもあります。彼らは何かあったときに頼れる人が周りにいません。持ち合わせている能力をフルに発揮できるように、できるだけ支えたいと思っています。

(2023年5月24日取材)



## 仕事を楽しむには自信と誇りが必要 将来に希望をもって働いてほしい

矢島鉄筋工業株式会社 代表取締役社長

矢島 孝夫 氏

長年、特定技能外国人や技能実習生たちと接してきた矢島さん。人材不足に悩める建設業界にとって、受入れは課題を解決する効果的な手法だと考えています。詳しくお話を伺いました。

### 人間性、考え方の違いを理解し 互いを尊重したコミュニケーションを

— 受入れのメリットを教えてください

我々の仕事は肉体労働なので、どうしても体力のある20代から40代がメインとなって活躍する仕事になります。50代、60代は技術力があるものの、体力勝負になると若者には負けてしまいます。そうした意味では、若く体力のある外国人は魅力的です。

— 彼らと仕事をするうえで心がけていることは？

仕事は楽しいほうがいい。それは日本人も外国人も同じはずです。もちろん仕事を教える時は厳しくなりますが、

それでも厳しすぎたら嫌になるのが人間というもの。だから、お互いに尊重し合い、コミュニケーションをよく取り合いながら仕事を進めることが大切です。

— 特に気をつけていることはありますか？

国によって人間性、考え方は違います。国民性として自己主張が強い人や、プライドが高い人もいます。そうした事情を把握した上で関係性を構築することは非常に重要です。上から「何やってんだ！」なんて怒鳴るなんてありえない。ただ、日本人も真剣に教えるなかでつい声を荒げてしまった、なんてこともあります。そうした場面ではその後のケアが大切ですね。

### 1級技能士など資格を取得させ 将来的なキャリアアップを明確にする

— 育成面ではどんな工夫をしていますか？

彼らは日本に来て、慣れない仕事、慣れない生活で不安の連続からスタートします。なので、まずは仕事に自信を持たせることが必要です。そのためには資格を取らせることはとても有効と言えます。そして、「自分はこれだけのことを覚えたからこそ評価されている」と、仕事に誇りをもてるようになれば、もっと毎日を楽しんでもらえると思っています。

— どんな資格を取得させているのでしょうか？

1級技能士を目指してもらっていて、当社ですでに取得した外国人が4名います。大切なのは、彼らに将来的な夢をもってもらうことで、資格取得後のキャリアアップについても明確にしています。当社で働くことによって自分の未来が明るくなっていくと、希望をもってもらうことが何より重要だと考えています。

### 海を渡り懸命にがんばる外国人を 徐々に増やして、盤石な体制を築く

— 建設企業の受入れは増えていくと思いますか？

もちろんです。例えば、東京では働く場所がたくさんあって、コンビニや居酒屋でアルバイトするにしても、2つほど掛け持ちをすれば30万円以上を稼げてしまう。そんな地域なので、日本の若い人たちは建設業に入職しても、少しつらいとすぐに辞めてしまいます。一方で、外国人は海を渡り、必死で稼ぎにきている。そんな彼らを雇いたいと思うのは自然なことでしょう。

— 今後の展開についてはいかがでしょうか？

当社では日本人の職人が徐々に高齢化しており、これから退職者が増えていくことは間違いありません。とはいえ、日本人の入職者もそこまでは期待できないのが実情です。そこで、日本人が退職すれば、その分、技能実習生や特定技能外国人を受け入れて外国人の人数を増やしていく予定です。この先5年で30人の外国人を受け入れる計画で、盤石な体制を築きたいと思っています。

(2023年5月30日取材)

## わたしの視点 ～ my point of view ～

# 彼らは大切な会社の戦力 絶対に無下にはしない

株式会社手塚工務店 取締役工事部統括部長  
鈴木 俊匡 氏

鈴木さんはインドネシアから来た特定技能外国人、技能実習生の生活面のサポートを担当しています。立場上、外国人たちからの要望を直接受けることも多く、さまざまな課題に直面してきたそうです。そんな鈴木さんに詳しくお話を伺いました。

### 腕のよい職人に育ててもらい 全体的な技能レベルの底上げをする

腕のよい親方に「面倒を見てほしい」とお願いをし、育ててもらうことで、全体的な技能レベルの底上げをしています。

#### — 特定技能外国人の仕事ぶりはいかがですか？

当社は現在、技能実習生より特定技能外国人のほうが多く在籍しています。技能実習生がメインだった時と違い、特定技能外国人は経験も長いので、図面も読めるしどんな作業もできてしまいます。貴重な戦力ですね。

#### — 育成のなかで気をつけていることは？

当然ですが、人によって技能に差はついてしまいます。技能レベルの高い人は親方たちから「自分の現場に入れてほしい」と人気が出る。対して、技能レベルが低い人は声がかからず、成長速度が遅くなってしまいます。そこで、私から

### 「努力は評価される」 それをしっかりと理解させる

#### — やる気を高めるために工夫していることは？

技能実習生の来日目的はあくまで技能習得ですが、特定技能は努力次第でいくらかでも稼ぐことが可能になります。がんばったらがんばった分だけ、会社は評価をしてくれること、そして反対に、がんばらなければ現状維持だということをしっかり伝え、やる気を促しています。

#### — 職場でのトラブルなどはありますか？

職人のなかにはどうしても叱り方がきつかったり、教え方が荒かったりする人もいます。そうすると、外国人から「あの現場に行きたくない」という要望が出る場合があります。そうした時は、私が間に入って外国人の気持ちを職人へ伝えるようにしています。職人も人手が足りない困ることはわかっているので、理解してくれますね。

### 要望は一旦受け止め 会社として答えを出すことが大事

#### — 外国人からの要望はどんなものがありますか？

仕事道具はすべて支給しているのですが、以前に、安全靴を有名メーカーのものにしてほしいという声がありました。とはいえ、やはりそうした靴は高いんです。ただ、そこで安易に要望を却下せず、今まで通り比較的安価な安全靴を履き潰したタイミングで支給するか、有名メーカーに変えるかわりに年一回だけの支給にするかを彼らに選ばせました。そうすると物を大事にするようになるんです。

#### — 要望を一旦受け止めて、条件をつけている、と

以前はスケール一つとっても壊れたら支給していました。ですが、月にいくらか金額を決めて、そのなかで物を管理するようにルールを変えたところ、途端に自分の道具に愛着をもって使うようになりました。

#### — コミュニケーションの取り方に工夫が感じられます

私はどんな仕事も人と人で成り立っていると思っています。外国人たちに対しても、まずは聞いてあげることが大事で、いかに意見を言いやすい環境を作るかが課題です。どんな要望にも必ず会社としての答えを用意して返してあげないと、意見すら出てこなくなる。彼らは大切な会社の戦力なんです。だから絶対に無下にはしないですね。

(2023年9月19日取材)



# 外国人材の建設キャリア Future

海外で働くことは、人生において大きなチャレンジです。特定技能外国人は、どんな経験を経て「今」にいたのか。「この先」にどんな夢を見据えているのか。チャレンジャーたちのキャリアをご紹介します。



社内初ベトナム人の「工務主任」としてずっと日本で活躍したい

## 先輩が手に取ったものを見て名前を覚える

一番困ったのが道具の名前です。先輩から「〇〇を持ってきて」と言われたら、一旦探すふりをして「見つかりません」と答え、「どこにありますか?」と聞いて、先輩が手に取ったものを見て名前を覚えていました。ずる賢いかもしれませんが、当時はそれしか方法が思い浮かびませんでした。



株式会社ヤマコン  
氏名 HOANG DINH HOANG  
愛称 ホアンさん(33歳)  
特定技能開始日:2019年12月2日  
滞在期間:10年目  
出身:ベトナム



入社  
来日

技能実習生  
1年目  
21歳

来日前

日本語は少し学んだのですが、ほぼ通用せず焦りました。

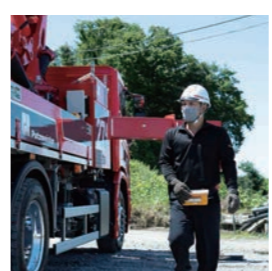
## チャンスを逃さず震災後の日本へ



ベトナムでも同じ業種の会社で社員として働いていて、ずっと日本に行くことを夢見ていました。2011年によく日本へ行くチャンスがやってきたのですが、その時に起きたのが東日本大震災です。当時、多くのベトナム人が日本行きを躊躇するなか、私は迷わず決断しました。

## 同郷だからこそ、あえて厳しく育てる

もう一度日本で働きたくて、2016年に再来日しました。まだ運転免許はなかったけど、ただのサポートではなく、ほとんどオペレーターと同じような業務をしていました。後輩の育成もしていて、日本語も教えていました。日本人の先輩たちに怒られるよりも、同郷の私から怒られたほうがまだショックも少ないだろうと、かなり厳しくしていましたね(笑)



先輩社員  
湯本さんから  
メッセージ



管理部係長  
湯本 垂久里 氏

ホアンさんにはほとんどオペレーターとして現場に入ってもらっています。現場監督との打ち合わせも日本語で、段取りも自分で組んでいます。また、外国人だけでなく日本人にも作業内容を教えている、実質的なリーダーです。社内トップレベルの技能を取得していて、ベトナム人として初めて「工務主任」の役職がついた社員でもあります。さらなる活躍が楽しみです。

日本で家も買いたいし、車も買いたい。結婚だっと思っていました。だからこそ、早く特定技能2号になりたいです。

現在

26歳  
建設就労者  
1~2年目

帰国

2年ほどベトナムの会社で働く。

28歳  
特定技能  
外国人  
1年目

1級コンクリート圧送施工技能士の試験に合格。試験勉強では湯本さんに過去問を用意してもらったなど、助けていただきました。



職人として活躍の場を広げたい!

「コンクリート圧送」の建設分野特定技能1号評価試験を受験。合格し特定技能1号の在留資格を取得。

## 日本人社員たちと家族のような関係に

日本の仕事のやり方に慣れ始めた頃、千葉県船橋市の営業所へ転勤になりました。ここではベトナム人を教える立場になったのですが、同じ営業所の日本人たちととても仲良くなり、家族みたいな関係になりました。それがうれしくて、会社をお願いして1年の予定が2年近く千葉で働かせてもらいました。



# 外国人材の建設キャリア Future

海外で働くことは、人生において大きなチャレンジです。特定技能外国人は、どんな経験を経て「今」にいたのか。「この先」にどんな夢を見据えているのか。チャレンジャーたちのキャリアをご紹介します。



“ゼロからのスタート”からマイカーを購入して今は週末にドライブへ!



城北建設株式会社  
氏名 **NGUYEN VAN DUNG**  
愛称 **ズンさん(33歳)**  
特定技能開始日:2021年6月10日  
滞在期間:6年目  
出身:ベトナム

## ベトナムとは勝手が違った日本の土木

日本に来る前、ベトナムで同じような業種の会社で3年ほど勤めていました。トンネルを造る現場で掘削作業などをしていたので、現在の仕事内容もなんとなくは理解できました。ただ、使う道具も違えばルールも違い、そうした意味ではゼロからのスタートでした。



特定技能外国人 1年目

31歳

技能実習生 1~3年目

28歳

入社

来日

来日前

現在の恋人と送り出し機関で出会い、交際がスタート。

## 怖かったのが「生魚」でした



日本行きが決まってまず用意したのがカップラーメンです。日本人は私たちが普段口にしない生魚を食べると聞き、食べられるものがあるか、とても心配でした。

## 夢や家族のために特定技能2号へ



今の目標は特定技能2号になることです。恋人と結婚して日本で一緒に暮らすのが夢で、恋人も香川県で仕事を探しているところです。それとはまた別に、ベトナムで暮らしているお父さんやお母さんのために家も建ててあげたいんです。そのためにも、早く1級土木施工管理技士の資格を取得したいです。

仕事はますます順調になっていきました。そんな自分があるのも、仕事を教えてくれた若林さんのおかげだと思っています。会社のなかでもトップレベルの技能を習得していて、厳しいけど尊敬している大先輩です。若林さんからすべてを教わり、今があります。



職人として活躍の場を広げたい!

現在

33歳

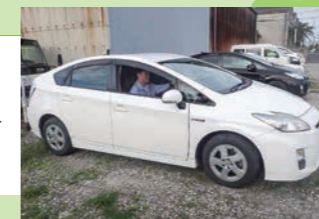
特定技能外国人 3年目

特定技能外国人 2年目

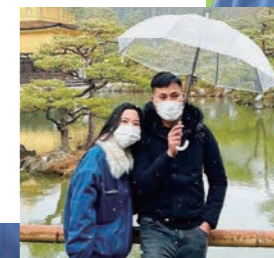
32歳

車を購入

念願叶ってほしかったハイブリッドカーを購入しました!



プライベートも充実してきて、週末はドライブへ出かけています。恋人と京都や大阪へ遊びに行きました。



先輩社員 若林さんからメッセージ



建設部 建築課長 若林 裕之 氏

来たばかりの頃から、わからないことはメモを取り、知らない言葉があればスマホで調べるなど、努力家であることは間違いありませんでした。言葉のわからない彼とのコミュニケーションはやっぱりスマホで、当初は翻訳アプリを使って会話していました。そんな彼が、今では重機に乗って主力として働いています。とても感慨深いですね。

## 車がほしくて会社に直接交渉



日本での生活に慣れ、日本語が上達してくると、自然と仕事も楽しくなっていくものです。20階建てマンションのような大きい現場も任されるようになって、やりがいや充実感も増していきました。この頃には車の免許も取りたくなり、教習所へ通って取得。それまでは車に興味もなかったのですが、だんだんとマイカーが欲しくなってしまう。ローンを組むのが難しいので、会社に交渉して一旦お金を工面してもらい、月々支払っています。

外国人就労者に  
聞いてみた!

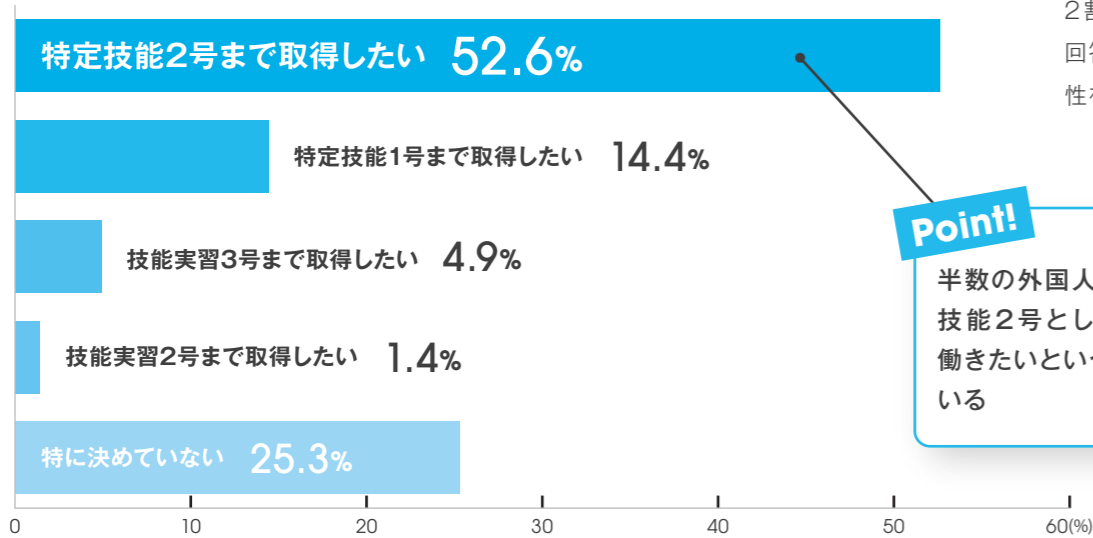
アンケートから読み取る

# となりのホンネ



こんな目標があります!

## Q 今後目指している在留資格



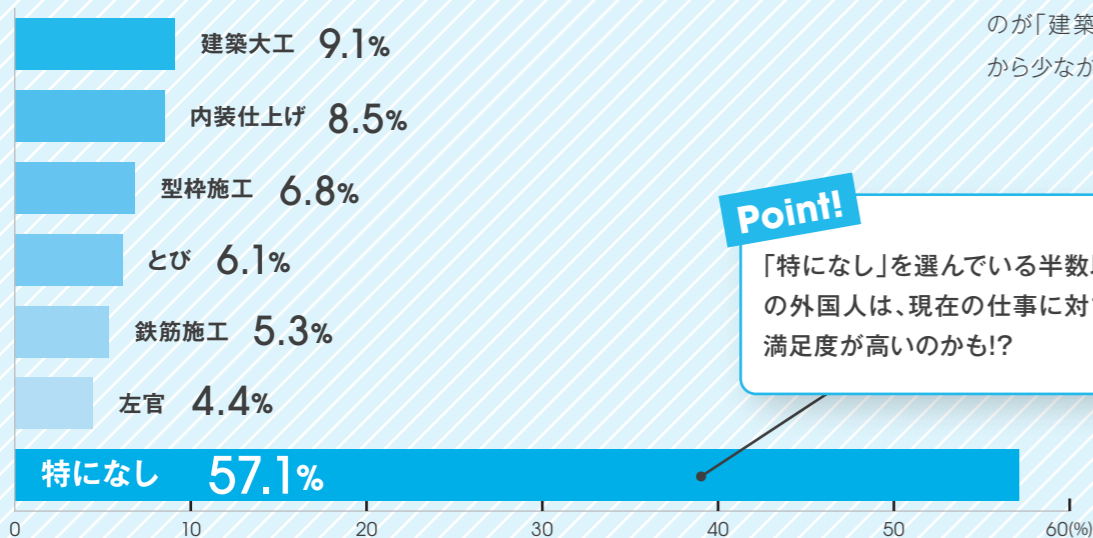
※JAC会員企業の外国人就労者の回答です。

6割以上の外国人就労者が特定技能を目指していることがわかります。2割程度の「特に決めていない」と回答した人は、働くなかで自身の方向性を定めていくことが予想されます。

### Point!

半数の外国人就労者が特定技能2号として日本で長く働きたいという希望を持っている

## Q 建設のなかで、他にやってみたい仕事



※JAC会員企業の外国人就労者の回答です。

回答としてはほとんど差異のない結果となりました。そのなかでも回答数が多かったのが「建築大工」と「内装仕上げ」で、他業種から少なからず注目されているようです。

### Point!

「特になし」を選んでいる半数以上の外国人は、現在の仕事に対する満足度が高いのかも!?

日本で建設業に従事する外国人就労者は、母国の家族の生活を援助するため、また、日本の建設技術を習得するために、日々異国の地でがんばっています。そんな彼らは、キャリアプランをどのように考えているのでしょうか?

将来、自国へ帰ったらどんな仕事を選ぶのでしょうか?アンケート結果から読み取れる、そんな「となりの外国人就労者のホンネ」を見ていきます。

期 間: 2022年9月30日~11月2日  
対 象: JAC賛助会員及び国交省システム登録企業(5,604社)  
方 法: インターネットとメールによるアンケート(複数回答方式)  
回答数: 外国人就労者1,315名



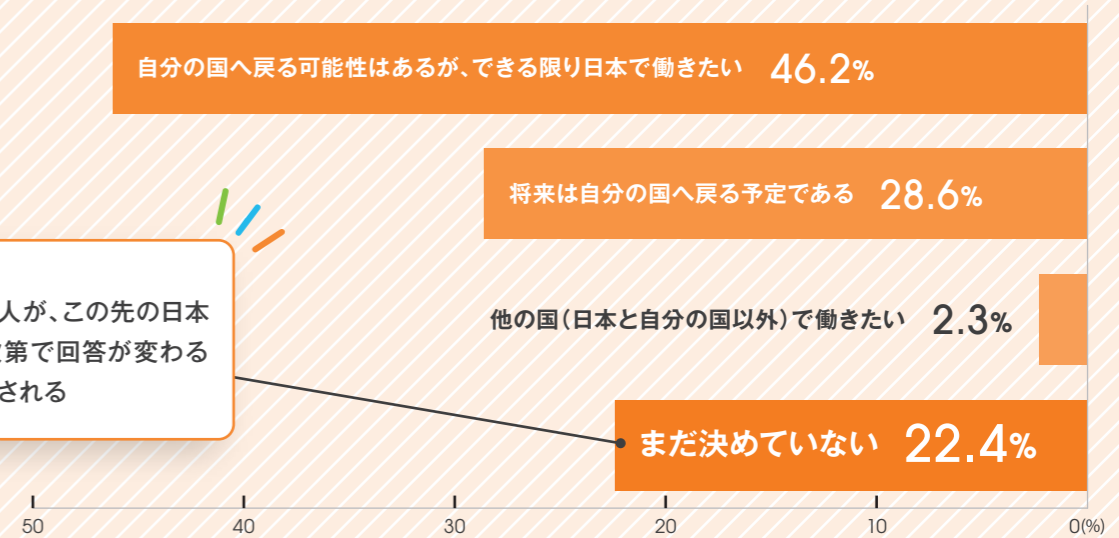
こんな将来考えてます!

## Q 今後働いてみたい国

自分の国へ戻る可能性はあるものの、日本で働きたい意向を持つ外国人は5割近くいることがわかります。受入企業のサポート次第では、日本でキャリアを積む外国人はまだ増えそうです。

### Point!

2割程度の人が、この先の日本での経験次第で回答が変わることが予想される



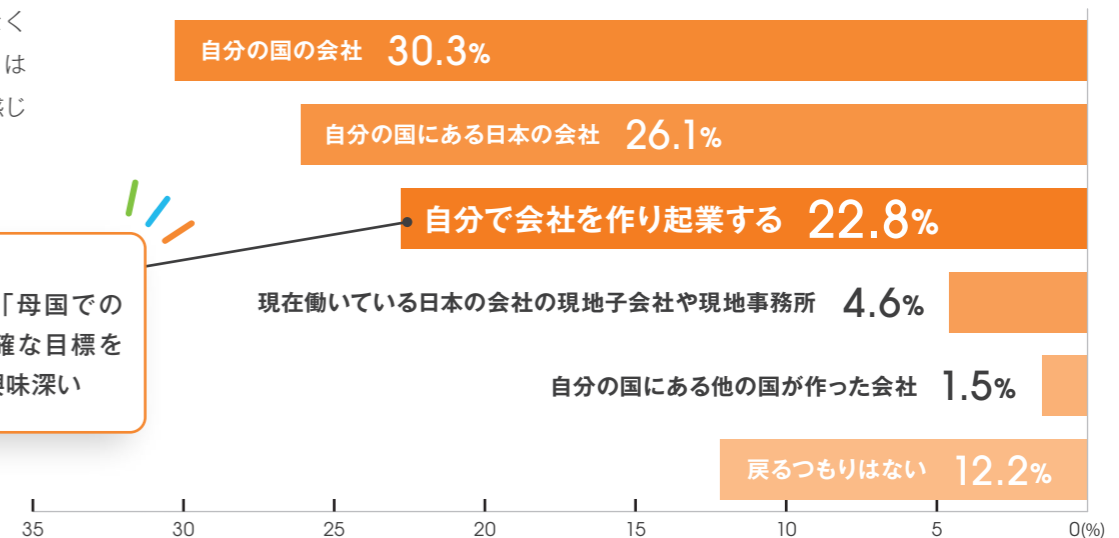
※JAC会員企業の外国人就労者の回答です。

「自分の国の会社」とほぼ同数に「自分の国にある日本の会社」があり、日本に良い印象をもつ人が少なくないようです。また「戻るつもりはない」と日本で働き続ける覚悟を感じる回答もありました。

## Q 自分の国に戻って働きたい会社

### Point!

2割以上の人が「母国での起業」という明確な目標を持っているのも興味深い



※JAC会員企業の外国人就労者の回答です。